

いろどり 彩

第23号 令和元年11月12日(火)

第1学年 学年通信

霜月

文責 竹川由紀子

令和元年度鳥取大学附属中学校文化祭



10月30日(水)とりぎん文化会館 梨花ホールを会場にして文化祭が開催されました。午前の部はステージ発表、学年合唱(1・2年)、午後の部は、クラス合唱と3年生の学年合唱のプログラムがあり、1年生はクラス合唱と学年合唱でステージに立ち合唱を披露しました。

夏休み前から約3ヶ月間をかけてクラス合唱、学年合唱を作りあげてきました。本番の舞台では今まで感じたことのない緊張感があり、精一杯歌った後に聞いた後の拍手に感動したことと思います。客席から見た一人ひとりの姿は堂々として、気持ちを歌に込めて伝えようとするメッセージでいっぱいでした。

梨花ホールのステージ発表を経験した1年生は、この文化祭を通してまた一歩成長しました。たくさんの方に見守られて歌えたことは本当に幸せなことです。ステージで見た光景は忘れられないものであり、大きな舞台上で合唱した経験はこれからの自分を支える大きな自信となったことでしょう。

1年生 学年合唱「手のひらをかざして」



附属中学校文化祭の開催にあたり、保護者の皆さまにたくさんご来場いただきありがとうございました。生徒たちは、日々のさまざまな学びを通して視野を広げ、自分が進むべき方向を模索している最中です。文化祭での附中生の発表は、今後の成長を感じさせる立派で堂々としたものばかりでした。

自然を見渡せば、木々が紅葉し街路樹は赤く色づいてきました。11月になり日が暮れるのもどんどん早くなってきています。もうすぐ冬至を迎える季節となりました。毎日の何気ない日常の中にも、自分を成長させるきっかけとなるものはたくさんあります。当たり前の毎日を元気で悔いなく精一杯過ごしていきたいものです。

新聞の紙面から

A 10月25日(日) 読売中高生新聞

ラグビーW杯で悲願のベスト8入りを果たした日本代表。さらなる高みを目指した準々決勝では、強豪南アフリカの厚い壁に阻まれ、3-26で敗れた。しかし、「桜の戦士」たちの快進撃は、国内だけでなく世界を驚かせ、多くの海外メディアも称賛の言葉を贈った。

日本			南アフリカ		
T	G	PG	T	G	PG
0	0	1	1	0	0
0	0	0	2	1	3

ラグビーW杯日本代表 4強ならず 桜の戦士 世界が称賛

南アに敗れる

アジアのチームとして初めて決勝トーナメントに進んだ日本。W杯で2度優勝経験がある南アに果敢に立ち向かった。開始早々にトライを奪われ先制を許したが、田村優がペナルティーゴール(PG)を決めて2点差に迫り、前半は3-5の僅差で折り返した。

しかし、後半は南アの強力なモールやタックルに押し込まれて失点を重ね、残り10分の時点で20点以上の

差をつけられた。敗色が濃厚となる中、それでも最後まであきらめずに戦う選手たちの姿に、スタンドからは割れんばかりの拍手が送られた。

グループリーグを4戦全勝で突破するなど、今大会の日本の活躍は世界に衝撃を与えた。南アのスポーツメディアは「(日本は)世界のラグビー界で称賛とリスペクトを勝ち取った」と報じた。ラグビーの母国・イギリスの公共放送(BBC)は「日本は世界の大舞台で渡り合えるチームになった」とたたえた。

B 11月2日(土) 日本海新聞

英語民間試験見送り

格差批判受け 24年度めど抜本見直し

萩生田光一文科相は1日の閣議後記者会見で、大学入学共通テストへの英語民間試験導入について「自信を持って受検生に薦められるシステムになつていない」と述べ、2020年度は見送ると発表した。経済格差や地域格差を拡大するとの批判に対し、十分な対応策が間に合わないことが主理由とされた。

今後は、民間試験の活用中止も選択肢に含め、関係者を集めた検討会を立ち上げ、1年間かけて抜本的な見直しを議論。もともと対象だった現在の高校は民間試験を課せず、中1が受験生となる24年度をめどに新制度導入を検討する。大学入学共通テストは20年1月の実施が最後となる。大学入試センター試験の後継で、英語への民間試験導入は目玉の一つだった。見

直しが行われるまでの間、共通テストの英語は従来のセンター試験と同様、大学入試センターが作成する試験問題のみで実施する。民間試験は、経済格差や地域格差を拡大するとの懸念から、高校現場や野党に追加の自衛策も求められた。萩生田氏がテレビ番組で「身の丈に合わせた入試を受けたい」という声から開始予定だったが、中止した。既に各地の高校から到着していた申請書は、示唆する声が出ている。

見直しの理由としては、格差の問題を挙げたほか、試験実施を民間団体に委ねたことで受験が間接的にたかたかたりする受験生の救済策が乏しいなどとして、導入延期を求めている。萩生田氏の「身の丈」発言もあり、批判が拡大した。野党は選抜を担った萩生田氏への辞任要求を強めており、不信決議案の提出を示唆する声が出ている。

C 11月3日(日) 日本海新聞

イングランドの先発メンバー

FW	カリニ	アタゼル
HB	ヤングス	フォード
TE	メイ	アフレル
FE	マイン	アフレル

南アフリカの先発メンバー

FW	コリス	アム
HB	マイン	アム
TE	マイン	アム
FE	マイン	アム

決勝

イングランド	12-32	南アフリカ
T	0	2
G	0	2
P	0	2
PG	0	2

日本海新聞 11月2日



南ア 復活の世界一

最近の新聞記事の中から3つを掲載しています。この中でみなさんが興味のあるニュースはありますか？私はどの記事も興味深く読みましたが、特に B の記事を読んで今後の動向がさらに気になりました。中学校1年生が大学入試を受ける2024年度に関わる内容が書かれている記事でした。今の生活も大事ですが、今後を考えて準備をすること、変化に対応した対策を練ることも大事です。広い視野で社会を見て自分に何が必要かを見極めながら積極的に情報収集をしていきましょう。

今後の予定

日にち	曜日	11月	日にち	曜日	12月
11/1	金		12/1	日	
2	土		2	月	振替休業日
3	日	文化の日	3	火	
4	月	振替休日	4	水	
5	火		5	木	1年生 キャリアメッセージ
6	水	教育実習(~19日)	6	金	
7	木	2年生 大学体験	7	土	1年生 学年の集い
8	金		8	日	
9	土		9	月	
10	日		10	火	文化祭展示の部(~16日)
11	月		11	水	後期懇談
12	火		12	木	後期懇談
13	水	職員会	13	金	後期懇談
14	木		14	土	
15	金		15	日	
16	土		16	月	
17	日		17	火	
18	月		18	水	職員会
19	火	個別相談	19	木	
20	水	個別相談	20	金	
21	木	個別相談 自然科学研究発表会(科学部)	21	土	
22	金		22	日	
23	土	勤労感謝の日	23	月	上皇誕生日
24	日		24	火	授業終了日
25	月		25	水	
26	火	後期中間テスト	26	木	
27	水		27	金	
28	木		28	土	
29	金		29	日	
30	土	参観日	30	月	
			31	火	

